



# 10月 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## トピックス 伝染性紅斑(りんご病)について(特に妊婦さんは気をつけてください!)

伝染性紅斑(39週でも特集しています。基本的な事は、バックナンバーをご覧ください。)は、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。伝染性紅斑の約4分の1は不顕性感染(感染していても、症状を発症していない状態)です。

成人の感染報告もあり、成人では両頬の蝶形紅斑は少ないため、**風しんと間違われている例**が小児より多いと思われます。

伝染性紅斑は、基本的には予後良好ですが、関節痛・関節炎がみられることがあり、小児より成人、男性より女性に多く、数日から数カ月症状がある場合があります。

また、妊婦が感染すると、ウイルスが**胎児に垂直感染し、流産や死産、胎児水腫**を起こすことがあります。伝染性紅斑を発症した妊婦から生まれた新生児でも、妊娠分娩の経過が正常で、出生後の発育も正常であることが多いです。

鎌状赤血球症などの溶血性貧血患者が感染した場合に貧血発作を引き起こしたり、免疫不全者が感染すると、重症で慢性的な貧血を引き起こしたりする場合があります。

発疹が出た時にはほとんど感染力は無くなっていますが、反対にウイルス排泄時期には特徴的な症状が出ないため、**感染対策が難しい**です。流行地域で体調を崩している子どもを妊婦がケアをする場合は、**通常以上の手洗いの徹底や、食器の共有をしない**こと、伝染性紅斑が流行している保育園や学校などに対しては、流行が終息するまでの間、**妊婦等は施設内に立ち入ることを出来る限り避けるか、マスクを装着しましょう。**



写真1  
翼・両側の頬に出現した蝶形発疹

写真2  
上肢伸側に出現した発疹

出典 国立感染症研究所

期 間		2019年 41週		2019年 42週	
		10/7～10/13		10/14～10/20 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		27	1.08	31	1.24
RSウイルス感染症		24	1.50	9	0.56
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	12	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		27	1.69	26	1.63
感染性胃腸炎		59	3.69	79	4.94
水痘(みずぼうそう)		0	0.00	3	0.19
手足口病		11	0.69	13	0.81
伝染性紅斑(りんご病)		17	1.06	20	1.25
突発性発しん		7	0.44	6	0.38
ヘルパンギーナ		10	0.63	4	0.25
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		19	3.80	12	2.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00